

株式会社中農製作所

大阪府東大阪市

はばたく中小企業・小規模事業者300社

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

社員一人ひとりを尊重した経営の実現 ものづくりを支える人材の雇用・育成

半導体製造装置、ロボットなどの先進分野をはじめ、20業種を超える顧客の産業機械部品試作・量産加工ニーズに対応する、精密切削加工のエキスパート企業である。日本とベトナムの2拠点に生産拠点を設置し、国際分業体制を構築している。独自の精密加工技術により、高精度な金属加工製品をあらゆる分野に提供している。

- | | | | |
|----------|---|--------|---------|
| ● 所在地 | 大阪府東大阪市足代北1丁目18番26号 | ● 設立 | 1949年 |
| ● 電話/FAX | 072-981-0969/072-982-4561 | ● 資本金 | 1,450万円 |
| ● URL | http://www.nakanos-s.co.jp | ● 従業員数 | 60人 |
| ● 代表者 | 代表取締役会長 中農 康久 | | |



担い手確保

ものづくり

若手・女性・外国人材の積極的な雇用・育成

これまで同社では、高卒の若手社員や女性社員を積極採用し、将来を担う有望人材の育成に力を入れてきたが、若手社員や女性従業員の登用は、部署間を超えた潤滑油的な役割を果たし、職場の活性化に繋がっている。また、同社は約15年前からベトナム人技能実習生を受入れてきたが、中にはベトナム現地法人の社長として、事業拡大に大きく貢献するような中核人材も登場してきている。ちなみに、当社ベトナム現地法人での離職率は、他社と比較して非常に低いのも特徴の1つとなっている。



ベトナム現地法人の職場風景

社員一人ひとりがお互いの人格を尊重し、ともに学び、育つ

同社では、月次決算等の財務情報を社員に開示して業績の共有化を図り、経営方針発表会、活動計画発表会を定期的に行い、社員の経営参画の機会を設けている。更に、個人の目標管理や年4回の個人面談等を実施し、社員のモチベーション向上と「自分たちで考えて、動く」といった組織風土を醸成定着させている。近年、人材・組織構造・顧客関係等といった「知的資産」に着目して新たなビジョンを策定したが、そのビジョンのもと、事業を実行することで取引先や金融機関との関係性が深まり、結果として業績の回復が図られた。



社員の経営参画を実現する活動計画発表会

ものづくりを支える人材育成制度の導入と実施

同社では、生産スタッフのスキル向上のため、技能五輪指導者によるマンツーマン実技研修である「ナカノテクノスクール」を随時開催している。これは、主に、切削加工の高度な技能と鋭敏な感性を養うことで、高度な製品づくりを推進するものである。また、個々の社員は、業務上必要なスキル習得のため、「部門別 教育・訓練プログラム」を参考に、全社員の個人面談の実施と職種別スキルマップを用いて、1年間の個人目標の設定を行っている。



ナカノテクノスクールにおける技術指導